

# 長崎純心大学 医療・福祉連携センター

## 講演会・シンポジウム

2014（平成 26）年度

### 地域包括ケアシステムに関する研究会

長年、長崎市及び純心中学校・純心女子高等学校でスクールソーシャルワーカーとして相談援助活動を実践されている木村和子先生をお招きいたしました。

ご自身のスクールソーシャルワークを通して見えてきた子どもとそれを取り巻く家庭や地域の課題、そこから学校におけるスクールソーシャルワークを取り入れることの意義についてご講演いただきました。

その後の意見交換会においては、地域包括ケアシステムの拠点としてのケアセンター扇町の活用の可能性について、高齢者だけではなく、子どもたちの居場所づくりとしての場、本学の学生による子どもたちへの学習支援の場として活用できるのではないかとのご提言をいただきました。

研究会には、本学教職員をはじめ、純心中学校・純心女子高等学校関係者、長崎大学関係者計 40 名の方々にご参加いただきました。

日時	2014 年 7 月 31 日 (木) 16:15～18:00
場所	本学 J 棟大会議室
テーマ	地域包括ケアシステム構築への課題を探る
プログラム	1. 長崎純心大学長挨拶 2. 発表 I 「地域包括ケアシステムの構築とケアセンター扇町」 長崎純心大学医療・福祉連携センター長 潮谷 有二 3. 発表 II 「スクールソーシャルワークから見える地域・家族」 長崎市教育委員会、純心中学校・純心女子高等学校スクールソーシャルワーカー 木村 和子 4. 意見交換とまとめ 5. ケアセンター扇町所長 閉会挨拶

### テキストマイニングに関する研究会

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の前田隆浩教授以下 5 名の先生方をお迎えして、樋口耕一氏が開発された KH Coder によるテキストマイニングに関する研究会を開催しました。

片岡瑠美子学長の挨拶に引き続き、前田先生からわが国における医学教育の現状や今後の展望、長崎大学医学部による地域医療実習の概要などについてご講話があり、医療情報に関するテキストマイニングの可能性について問題提起がありました。これを受けてセンター長である潮谷有二教授が KH Coder を活用した医療・福祉分野におけるテキストマイニングの実際を実技を交えながら講義を行いました。

講義終了後の意見交換では、医学部生の実習評価や授業評価におけるテキストマイニングの活用に留まらず、外部変数、カテゴリー間のつながり、べき乗分布、複雑系などアカデミックな議論が百出し、予定の時間を大幅に延ばすなど盛会裏に研究会を終了することができました。

なお、テキストマイニングとは、膨大に蓄積されたテキスト型データ（文章の集まり）を単語やフレーズに分割して、それらの出現頻度や連関を分析して有用な情報を抽出する手法です。テキストマイニングを行うためのツールは有償のものから無償のものまでさまざまなソフトウェアが開発されていますが、立命館大学の樋口耕一氏が開発された KH Coder は無償のうえ、多くの研究者から支持されているソフトの1つです。

日時	2014年12月12日(金)
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 長崎純心大学長挨拶</li> <li>2. 問題提起 演題：「医療分野におけるテキストマイニングの可能性ー地域医療教育の充実に向けてー」 講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療学分野 教授 前田 隆浩</li> <li>3. 講義 演題：「医療・福祉分野におけるテキストマイニングの可能性」 講師：長崎純心大学医療・福祉連携センター長 潮谷 有二</li> <li>4. 意見交換とまとめ</li> </ol>

#### 「長崎が目指す未来の地域包括ケアの姿」シンポジウム

超高齢社会を迎える中、多様な疾患を抱えた高齢者を全人的に診る医療の充実及び地域で高齢者を包括的にケアするシステムの構築が喫緊の課題となっており、特に医師と福祉職や介護職との連携が重要な課題として挙げられております。

このような状況の中、長崎大学と長崎純心大学とは連携して文部科学省補助事業「未来医療研究人材養成拠点形成事業」を平成25年度より実施し、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携して活躍できる医療人材や福祉人材の育成に取り組んでいます。その一環として、「長崎が目指す未来の地域包括ケアの姿」と題するシンポジウムが開催したところ、片峰 茂長崎大学長、片岡瑠美子長崎純心大学長の他、両大学の関係者、医療・福祉分野の関係者など計190人の方にご参集いただきました。

日時	2015年2月7日(土) 14:00~17:00
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 挨拶 長崎大学長 片峰 茂 長崎純心大学長 片岡 瑠美子</li> <li>2. 事業進捗状況 長崎大学地域包括ケア教育センター長 永田 康浩</li> <li>3. 講演「地域包括ケアシステムの構築に向けて」 長崎純心大学医療・福祉連携センター長 潮谷 有二 座長：長崎大学医学部先端医育センター長 安武 亨</li> <li>4. 特別講演Ⅰ 「2025年に向けた医療提供体制の改革と地域包括ケアシステムの構築について」 厚生労働省 医政局地域医療計画課課長補佐 西川 宜宏 座長：長崎大学社会医療科学講座地域医療学分野教授 前田 隆浩</li> <li>5. 特別講演Ⅱ</li> </ol>

	<p>「地域包括ケアシステムに求められる多職種連携～医師に果たすべき役割～」</p> <p>国民健康保険 平戸市民病院長 押淵 徹</p> <p>座長：長崎大学地域包括ケア教育センター長 永田 康浩</p> <p>6. 閉会挨拶</p> <p>長崎大学医学部長 下川 功</p>
--	---

### 地域における医療と介護の連携に関する研究会

長崎県や長崎市の福祉行政担当者や地域医療に関心を持つ医学関係者を対象に、熊本県健康福祉部長寿社会局長である山田章平氏を講師にお迎えして、「地域における医療と介護の連携に関する研究会」を開催しました。

研究会には、上田彰二長崎県長寿社会課長、三井敏弘長崎市市民局福祉部長、吉峯悦子同理事、南涼子長崎市高齢者すこやか支援課長、長崎大学医学部の永田康浩教授、門田耕一郎助教など、多数の医療・福祉関係者にご参加いただきました。

なお、本学からも潮谷有ニセンター長の他に児島達美人間心理学科長、松永公隆現代福祉学科長などの教職員が参加しました。また、本学現代福祉学科の学生も地域包括ケアの勉強のために参加しました。

厚生労働省ご出身の山田局長先生のご講演は、日本の社会背景や国の政策動向などを踏まえながら、「地域の縁がわ」、「認知症施策」、「地域包括ケア推進」など熊本県で取り組まれたことをご講演いただきました。最後に、地域包括ケアに医療と介護の連携は欠かせないと結ばれ、長崎純心大学と長崎大学医学部との連携事業を後押ししていただきました。

日時	2015年3月24日(火)14:00～16:30
場所	長崎純心大学ケアセンター扇町
テーマ	地域における医療と介護の連携の在り方
プログラム	<p>1. 開会挨拶</p> <p>長崎純心大学医療・福祉連携センター長 潮谷 有ニ</p> <p>2. 講演 「地域における医療と介護の連携」</p> <p>講師：熊本県健康福祉部長寿社会局長 山田 章平</p> <p>3. 意見交換等</p> <p>座長 長崎純心大学医療・福祉連携センター長 潮谷 有ニ</p> <p>4. 閉会挨拶</p> <p>長崎大学大学院 地域包括ケア教育センター長 永田 康浩</p>